

## **1. 第3回専門部会議事要旨及びご質問に対する回答等**

- ・三多摩市町村が、立川断層について調査を行うよう政府に申し入れをしたということである。
- ・町田市としては、その申し入れの状況の把握に努める。地震対策としては、設計の段階で耐震性について配慮する。

## **2. 意見募集について**

### **①意見募集の方法等に関する質問など**

- ・二次選定(案)と三次選定の評価項目(案)に対する意見募集を同時に行うのは、急ぐということではなく、三次選定の評価項目に関する議論の時間を長くとするということである。より意見を取り入れるという主旨である。
- ・二次選定(案)と三次選定の評価項目(案)に対する意見募集は同時に行うが、資料1の6ページの図を見る限り別々に行う印象を与えるので、表現を修正する。
- ・1回目の意見交換会は2~3月にかけて行う。2回目の意見交換会は7月以降を予定している。

### **②意見募集について、および意見交換会における議論のあり方**

- ・どのような施設を作るのかという整備基本計画専門部会の結論が出ていない中で、二次選定(案)や三次選定評価項目(案)の議論することに意味があるのか。
- ・意見募集で寄せられた意見のような話が、意見交換会でも出されると思う。時間をかけて寄せられた意見を落とし込まなければならない。どのような方向性を持って意見交換会に臨むのが重要である。
- ・すぐに実行した方がよいものと、議論を尽くすべきものがあると思う。意見交換会は、その場ですぐに返答することにとらわれず、市民の意見を素直に聞くような形にするのがよいと思う。

## **3. 建設候補地選定について**

- ・教育施設に関する事項が三次選定に組み込まれているのは、施設の内容、規模、数、距離等の要素があるため、工学的な方法で一括して比較整理することが困難だからである。
- ・意見募集の結果をどのように選定プロセスに反映しているのかわかるようにしてほしい。
- ・「二車線道路からの距離」というのは、収集運搬の効率を考えた設定条件であり、あくまで目安として300mという数値を導入した。建設候補地の近くに太い道路がない場合、新規に道路を作ることになりコストがかかってしまう。市有地がどこにあるのかわかれば、その市有地と道路との距離の照らし合わせが出来る。具体的な内容は後々の部会で明らかにする。
- ・市役所跡地の利用に関しては、跡地利用の検討委員会で議論されている。その委員会の答申では、跡地を廃棄物処理施設建設に利用するというような内容はなかった。

## **4. 意見交換会の進め方について**

- ・意見交換会に臨むにあたって、両専門部会の意思統一が必要であると思う。
- ・26日の委員会の前に、意見募集で寄せられた意見を三次選定の評価項目にどのようにすり合わせをしたのかというプロセスを整理すべきではないか。
- ・三次選定において、他市の評価項目の事例も出してほしい。
- ・熱回収施設、ごみメタン化施設、不燃物・粗大ごみ処理施設と資源ごみ処理施設について、一次、二次選定までが共通で三次選定を別々に行うのであれば、それに対応して方法も分ける必要がある。